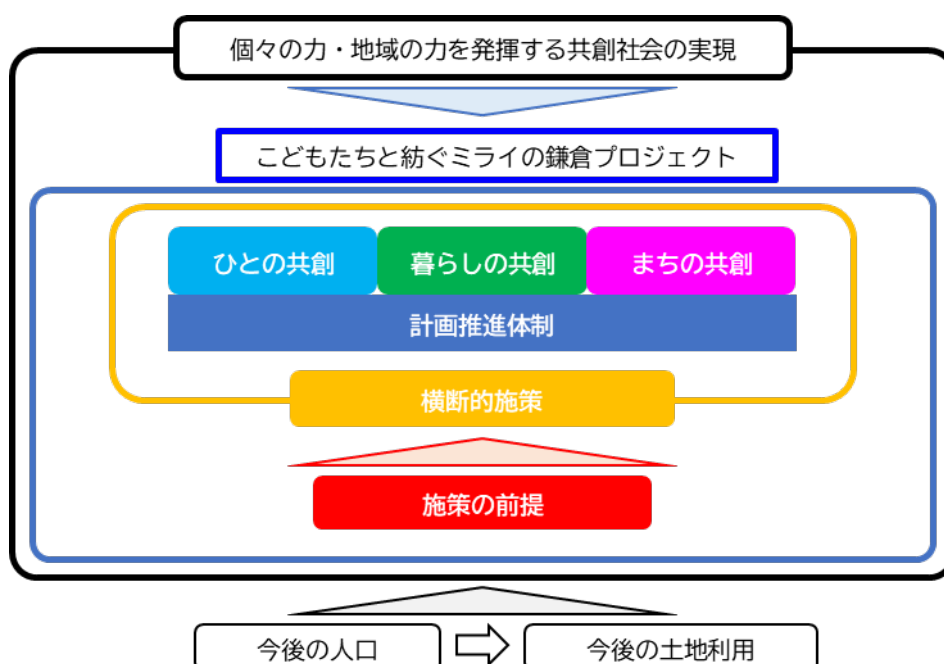


6 施策

基本構想の実現に向け、「個々の力・地域の力を発揮する共創社会の実現」という基本方針のもと、市として取り組むべき施策を整理します。

(1) 施策の体系

施策については、「施策の前提」「横断的施策」「ひとの共創」「暮らしの共創」「まちの共創」及び「計画推進体制」の六つの柱に分け、それぞれの柱ごとに各施策を位置付けます。



(2) 施策の展開

各施策を進めるに際しては、次の点を考慮しながら、施策の対象となる方々の目線に立ち、当事者であることを意識した具体的な施策展開を図ります。

ア 施策間の連携

昨今の社会情勢下では、当初想定していなかった事態が発生した場合においても臨機応変な対応が求められることから、これまで以上にそれぞれの施策が相互に連携・補完しあいながら、施策目標の実現を目指します。

イ 施策と SDGs

SDGs とは、平成 27 年（2015 年）に国連サミットで採択された持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことで、令和 12 年（2030 年）を期限とする、先進国を含む国際社会全体の 17 の開発目標とこれを実現するための 169 のターゲットのことです。

本市は平成 30 年（2018 年）6 月に SDGs 未来都市に選定されましたが、これは、まちづくりの目標の実現に向け、社会・経済・環境の 3 側面をつなぐ統合的な取組が必要であることから、様々なステークホルダーを巻き込むに当たり、「SDGs」を共通言語として、さらなる取組を推進しようとするものです。

この考えは、「個々の力・地域の力を発揮する共創社会の実現」にも通ずるものであることから、「鎌倉ミライ共創プラン 2030」においても、施策と SDGs の関係を明らかにすることで、SDGs の達成を目指すとともに、SDGs の視点から施策の構成内容の点検・立案を行います。

(3) リーディングプロジェクト

基本計画全体をリードし、計画期間中、先導的・戦略的に取り組む「リーディングプロジェクト（以下「プロジェクト」という。）」を位置付けます。

ア プロジェクトの目的

子どもたちは、地域に欠かせない存在であり、未来のまちづくりの主演です。

子どもたち自身が成長し、幸福になることは、まち全体の活力を生み出し、まち全体の持続的な発展にも寄与し、ひいては、大人も自分らしく豊かに生きることができる社会につながります。

鎌倉の子どもたちが成長し、幸福になり、鎌倉の持続的な発展につながっていくよう、「子どもまんなか社会」の実現を目指している本市として、子どもたちが鎌倉への想い・地域への想いを育み、深め、そして、未来のまちづくりの主演として、自分らしく、かつ、自発的にまちづくりに関わりたいと思う、こうした想いを大事にしなければなりません。

そこで、本市に対する子どもたちの想いを踏まえながら、まちづくりの基本方針である「個々の力・地域の力を発揮する共創社会の実現」に向けた先導的・戦略的取組として、子どもを軸とした必要な事業に取り組むことで、鎌倉で育つ子どもたちが喜びや誇りを持つことができる環境を整備するプロジェクト＝「子どもたちと紡ぐミライの鎌倉プロジェクト」に取り組み、まち全体の活力を生み出し、まち全体の持続的な発展につなげます。

イ プロジェクトの取組

子どもたちに関する取組は、「2-2 子ども・若者」「2-4 教育」等で整理していますが、特に、鎌倉で育つ子どもたちが、鎌倉で生まれ、育ち、生活することに喜びや誇りを持つためには、子どもたちが安心感や高揚感を抱けることが大切です。そして、ここから高まる自己肯定感や達成感が、全体的な幸福感にもつながります。

安心感には、子どもたちやその周囲の人たち、そして、双方の人間関係・コミュニケーションがより深まり、豊かになることが重要であり、これに向け、子どもたちの多様性が尊重され、安心できている環境が必要です。また、高揚感には、好奇心旺盛な子どもたちが奮い立ち、新たな挑戦に対して積極的になれることが重要であり、これに向け、子どもたちが自身の未来に対してワクワクし、期待に胸を膨らませることができている環境が必要です。

そこで、次のとおり、プロジェクトの取組について示します。

① こどもたちの多様性が尊重されている環境を整えていきます

こどもたちが安心して鎌倉で生まれ、育ち、また、子育て当事者が安心して鎌倉でこどもを生み、育てることができるよう、こどもたちや子育て当事者に対する支援を充実させることで、こどもたちの健やかな成長を切れ目なく支えていきます。

こどもたちが自分らしさを発揮しながら生活できるよう、多様な遊び・体験・学び・交流ができる地域を構築することで、一人ひとりのニーズにあった居場所を整備していきます。

② こどもたちが自身の未来に対してワクワクできている環境を整えていきます

一人ひとりのニーズにあった居場所の整備とともに、学習者中心の学びができるよう、探究できる学習カリキュラムの構築のほか、学校の指導運営体制や施設・設備を整備することで、こどもたちが未来にワクワクしながら学べる環境を整えていきます。

③ その他「こども」という視点から各施策の取組を推進します

こどもたちが日々生活する中で触れ、関わる環境に関しても、各施策において、「こども」という視点を持ちあわせながら、その取組を推進します。

→ 成果指標

指標名	直近実績値	目標値又は目指す方向
鎌倉で育つことに喜びや誇りを感じているこども・若者の割合	(未定) (2026年度)	↗
自分にはよいところがあると感じている小中学生の割合	89.4% (2025年度)	↗

(4) 各施策

